

株式会社ブロードリーフ

証券コード:3673



第14期 ビジネスレポート

2022年12月期

2022年1月1日 ▶ 2022年12月31日



BroadLeaf

<https://www.broadleaf.co.jp/>

TOPメッセージ

1

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ブロードリーフグループは、企業理念の「感謝と喜び」および社名に込められた想いの実践を通じて、お客様の事業継続や事業創造に貢献するための活動を続けています。2022年12月期(2022年1月1日～2022年12月31日)においては、2022年2月に公表した中期経営計画(2022-2028)の元年として、基本戦略の「クラウドの浸透」と「サービスの拡張」に取り組み、ビジネスモデル転換の基礎を固めました。

具体的には、新たな中核商材のクラウド型業務支援ソフトウェア『.c(ドットシー)シリーズ』を、既存のお客様だけでなく新しいお客様にも提供し、市場に浸透させています(クラウドの浸透)。また『.cシリーズ』以外にも、ホームページ作成ツールや、改正電子帳簿保存法対応ソリューション、グループウェアなど、『.cシリーズ』と連携可能なデジタルサービスをお客様に提供しています(サービスの拡張)。これらの戦略を通じてお客様のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。DXの推進は、今後お客様同士の受発注をデジタル化するサービスを拡充する際に追い風となります。また、将来的にはこれらのサービスを、主要なお客様が所属するモビリティ産業を起点に、他産業にも広げてまいります。

なお、『.cシリーズ』などの新しいクラウドサービスは、月額サブスクリプション方式で売上が計上されるため、計画初年度においては売上収益が前期比で減収となりましたが、お客様の数が増えていることから分かるように、ビジネスの実態は順調です。2023年12月期以降は月額売上が積み上がり増収に転じるとともに、クラウドサービスを利用するお客様が増加するにつれて売上収益の安定と成長を実現する計画です。

中期経営計画(2022-2028)の実践を通じて、当社グループの持続的成長と企業価値向上の好循環の実現を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 大山 堅司

